

事業所名

放課後等デイサービス事業所菊池園

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

10日

法人(事業所)理念		まずは利用者ありき。すべてはそこから始まる。利用者にとってより良い生活環境の実現を目指して、全職員一丸となって日々努力していく。			
支援方針		生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、児童の身体および精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて適切かつ効果的な指導および訓練を実施する。			
営業時間		10時	0分から	19時	0分まで
		送迎実施の有無		あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	健康状態を学校や家族と連携して把握し、特性に配慮しながら小さなサインに気付くよう観察を行い、衣服の調節、室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮を行う。食事や排泄、衣類の着脱等、生活に必要な基本的技能を発達段階に応じて向上を目指していく。また、個々の特性に配慮し、様々な遊びや活動を通じた学びが促進されるよう環境を整え、時間や空間を分かりやすく構造化する。			
	運動・感覚	遊びや活動を通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図る。また、感覚の過敏、鈍麻等の特性に配慮しながら環境を整え、保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚など様々な感覚を十分に活用できるよう支援する。			
	認知・行動	個々の認知の特性を理解し、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、入ってくる情報を適切に処理できるよう支援を行う。遊びや活動の中で、物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援する。また、感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。			
	言語 コミュニケーション	自分の思いを言葉だけではなく、表情や身振り、書字等を用いて意思のやりとりが行えるよう支援する。状況を的確に把握し、場面や相手の状況に応じたコミュニケーションがとれるよう支援する。個々の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。			
	人間関係 社会性	個々の特性に配慮しながら、様々な人との関わりを持つことで相手の意図や気持ちを理解し、その場に応じた適切な行動をとることができるように支援する。集団での決まり等を理解して、遊びや集団活動に参加できるように支援するとともに、共に活動することを通じて、仲間づくりにつながるよう支援を行う。			
家族支援		こどもの信頼感を育むとともに感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続するために支援を行う。また、家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応する。		移行支援	ライフステージの切り替えを見据え、将来的な移行に向けた準備を行い、移行先との支援方針・支援内容の共有を図る。
地域支援・地域連携		地域の様々な場面で適切な支援を受けられ、地域の中に居場所を持つことができるよう、関係機関と連携を図りながら、より良い支援を行う。		職員の質の向上	内部研修や外部研修、リモート研修等を行い、職員の知識・技術の向上を図り、より良い支援方法に繋げていく。また、職員の自己研鑽のための図書の整備を行う。
主な行事等		社会科見学・買い物体験・公園遊びなどの外出行事や、七夕・水遊び・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・節分・ひな祭り・クッキングなど季節に合わせた活動を実施している。			